

令和5年3月27日

久米島町議会
議長 玉城 安雄 殿

久米島町議会議員定数調査特別委員会
委員長 真栄平 建正

議員定数調査特別委員会報告書

令和2年6月19日、令和2年陳情第3号「久米島町議会議員定数削減について」において設置された本委員会のこれまでの調査および審査内容について、報告をいたします。

1. 付託の概要

- (1) 目的：議員定数に関する調査および審査
- (2) 委員（定数7人）
委員長：真栄平建正 副委員長：富永肇
委員：盛本實、赤嶺秀徳、新垣幸子、棚原哲也、幸地猛
- (3) 期限：審査終了まで、閉会中もなお審査を行うことができる。

2. 調査等の主な経過

令和2年6月19日の委員会設置以降、13回にわたる委員会の開催をはじめ、研修会および勉強会等を実施しました。

それらの取り組み内容については、「県内町村議会の状況」「陳情書の内容整理」「議員定数のあり方の検証」等であります。

なお、経過の詳細については、お手元に配布したとおりです。

3. 団体との意見交換会の実施

陳情者である区長会、および経済5団体との意見交換会を実施した。

- (1) 区長会との意見交換会
実施日：令和3年4月1日（木）
参加者数：区長会30名、議員12名

(2) 経済5団体との意見交換会

実施日：令和3年11月16日（火）

参加者数：経済5団体12名、議員13名

4. 審議内容と結果

久米島町議員定数調査に関する調査特別委員会は、令和2年6月19日の令和2年第5回定例会において、「議員定数調査特別委員会」を設置した。

その理由は、町議会議員選挙投票率の低下や人口減少、少子高齢化等を背景とした本町を取り巻く環境の変化を危惧した久米島町区長会からの陳情を受け、町議会として本町における議員定数について調査・検討をするために設置した。

委員会を13回開催し、委員会設置期間中に、県内町村議会の状況、研修会および勉強会の実施、陳情書の内容整理、議員定数のあり方の検証等により調査・検討した。

また、令和3年4月に久米島町区長会、同年11月に経済5団体とそれぞれ意見交換を実施し、議員定数について多くの意見を拝聴した。

令和5年3月23日の最終委員会をもって、その結論に至った。

本町議会の現行議員定数14人は、人口規模のみで見た場合、多いと感じる一面はあるが、議会は住民サービスにおける行政需要やそれに伴う財政規模、そして何より多様な住民の意見を把握・反映しうる議会でなければならない。

執行部との二元代表としての機能を維持・発揮するには、町執行部と議会は常に均衡ある関係が必要である。

そのためには、一定の議員数が必要である。

また、委員会活動も重要であり、委員会活動を成熟した形とするには、7人以上の委員が必要である。

議会は行政監視と意思決定機関であり、近年の予算規模の増大や各事業および予算の執行は複雑多岐にわたることから、議会チェック機能を維持することと、議会制民主主義として住民の声を行政に反映させるには現定数14人が、妥当であるとの意見で一致した。

近年、議員のなり手等の後継者不足が課題となっており、そのような中、支持基盤を形成しづらい女性や若者が積極的に政治に関心を持ちチャレンジできる環境を作ることも議会に課された責務である。

委員会での討論はありませんでした。

令和2年陳情第3号「久米島町議会議員定数削減について」の委員会での採決結果は、賛成0人、反対7人という結果でありました。

したがって、「令和2年陳情第3号 久米島町議会議員定数削減について」は、不採択すべきものと決定しました。

以上、報告といたします。